

第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成16年10月13日(水)
児 童 男子7名 女子6名 計13名
指導者 教諭 村田 弥子

- 1 単元名 お話、大すき
教材名 こんなお話を考えた

2 単元について

(1) 単元の主目標

学習指導要領国語科の1・2年生の「書くこと」の目標は「経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。」である。その中でも特に内容ウ「自分の考えが明確になるように、簡単な組立てを考えること。」を中心に指導するために本単元を設定した。

主目標は、「簡単な組立てを考えてお話を書き、絵本を作ることができる。」である。

その他に、学習指導要領国語科の1・2年生の「書くこと」の内容エ「事柄の順序を考えながら、語と語や文と文との続き方に注意して書くこと。」についても、単元の学習を通して指導していく。

(2) 単元について

本単元では、絵本を作ることを目的として、3枚の絵を手がかりとしてお話を作る活動を行う。

始めは、絵を見て想像を広げながら「三まいのおふだ」読み聞かせを聞き、お話の面白さを味わう。その後、教材文に出てくる絵を用いて、新たに自分で組立てを考えながらお話を書き進める。教材文の絵は、「はじめ・なか・おわり」という3部構成になるように3枚に分かれており、子供たちが文章の簡単な構成について学習できるようになっている。

また、学習の終わりには、後書きや表紙の書き方についても学習し、絵本としてまとめる。

(3) 子供の実態

子供たちはこれまでに、2年上「お手紙こうかん会」で、相手に分かりやすく伝えるために、文章の組立てを考える学習をしてきた。また、日常活動の日記や作文などでも、相手に分かりやすく順序立てて書く練習をしてきた。これらの活動を通して、自分の思いを文章に表現できるようになってきており、書くことに意欲的に取り組むようになってきている。

しかし、自分の考えを分かりやすく伝えるために、順序立てて書いたり、文章の組立てを意識しながら書いたりすることが苦手な子供も見られる。

(4) 単元と子供の関わり

子供たちは、実際に見たことやしたこと、感じたことを文章に表現する活動はたくさん行っている。

しかし、絵などから想像を膨らませたことを、文章に表現する経験は少ない。

そこで、本単元では、絵をもとにしてお話を書き、絵本を作るという活動を設定することで、想像の世界を広げ、そのことを楽しみながら書く機会としたい。そして、「はじめ・なか・おわり」の構成を理解し、文章の組立てを考えること、構成の仕方によってお話の展開が変わることを学ばせたい。また、場面同士のつながりや、事柄の順序を考え、文と文とのつながりを意識して書く必要性を学ばせたい。

(5) 指導にあたって

第1次では、「三まいのおふだ」のストーリーを読み聞かせたり、自分で好きな本を探して読ませることで、お話の世界を十分に楽しませたい。また、絵本を作り1年生に読み聞かせるとい、「相手意識・目的意識」をはっきり持たせることで、お話作りの活動に意欲的に取り組めるようにしたい。

本時の指導においては、前時に書いた「はじめ」のストーリーとのつながりを考えながら、「なか」の部分のストーリーを考えて書く活動を行う。その際、生き生きとしたストーリー展開となるように、誰が何をしたか、様子を想像させながら、会話文を入れて書くことを確認させる。このことにより、お話を作ることの面白さや楽しさを味わわせていきたい。また、句読点やかぎ(「 」)の使い方も改めて確認し、文章の中で正しく使うことができるようにしたい。

評価活動においては、書いたお話について代表作をいくつか選び、視点に沿って書くことができたかどうか確認しあう。そして、友達の良いところを自分のお話作りに生かすなど、次時の活動がさらに良いものとなるようにしていきたい。

3 単元指導目標

単元の主目標

簡単な組立てを考えてお話を書き、絵本を作ることができる。

【国語への関心・意欲・態度】

絵本を作る目的で、3枚の絵をもとに意欲的にお話を考えて書こうとする。

【書くこと】

「はじめ・なか・おわり」など、簡単な組立てを考え、お話を書くことができる。

(書 ウ)

場面と場面、文と文とのつながりを考えながら、お話を書くことができる。

(書 エ)

【読むこと】

絵を見て想像を広げながら読み聞かせを聞き、お話の面白さを味わう。

(読 ウ)

【言語事項】

句読点の打ち方やかぎの使い方を理解して、お話を作るときに正しく使うことができる。

(言語 ウ)

4 単元指導計画(14時間)

過程	時間	学 習 活 動	評 価 規 準
第 1 次	1	絵を見ながら「三まいのおふだ」のお話を聞く。 ・教科書の挿絵を見ながら、読み聞かせを聞く。	場面の様子や人物の気持ちを想像しながら読み聞かせを聞いて、内容の大体をつかんでいる。 【読】
	2	自分で本を探して読む。	好きな本を探して読んでいる。 【読】
第 2 次	3	作品例を読んで、お話の書き表し方をとらえる。 ・「はじめ・なか・おわり」の構成を理解する。 ・言葉の一つ一つに着目し、どの言葉がお話を生き生きとさせているか、考える。	作品例の表現の工夫を探そうとしている。 【関】 作品例から、いつ、どこで、まわりの様子、会話文などのお話作りのポイントが、お話を生き生きとさせていることなどに気づいている。 【書】 漢字や語句について理解している。 【言】
	4	見通しを持ちながら、絵を見てお話を考える。 ・教科書の「こんなお話を考えた」の3枚の絵を並べ、お話のあらすじを書く。	お話の展開を考えながら、3枚の絵を使う順序を決めようとしている。 【関】 お話の順番を決め、絵から想像したことをもとに、あらすじを書いている。 【書】 句読点やかぎの使い方を理解している。 【言】
第 3 次	5 ・ 6 本時 ・ 7	お話の「はじめ・なか・おわり」の場面を書く。 ・事前に学習した、お話作りの視点に気をつけながら書く。	楽しみながらお話を考えて、書こうとしている。 【関】 お話作りの視点に気をつけながら、お話を書いている。 【書】 句読点の打ち方やかぎの使い方を理解して、文章の中で使っている。 【言】
	8	お話を読み返し、書き直す。 ・自分で、または友達同士で読み返して推敲する。	何度も読み返して間違いなどに注意したりしようとしている。 【関】 何度も読み返して間違いや筋の通らないところを見つけ、書き直したりしている。 【書】 句読点の打ち方やかぎの使い方を理解して、文章の中で使っている。 【言】
	9 ・ 10 ・ 11	お話を絵本にする。 ・丁寧に清書する。 ・後で読む人のことを考えて、後書きなどを丁寧に書く。	絵と文とのかかわりを考えながら丁寧に清書し、後書きや書いた人の紹介、表紙を書き、製本作業を楽しみながらしようとしている。 【関】 絵と文の位置を考えながら丁寧に清書し、後書きや書いた人の紹介を入れながら製本している。 【書】 用紙の使い方や、表記の仕方に気をつけながら書いている。 【言】
第 4 次	12	友達の絵本を読み合う。	作品を発表しあい、表現のよさを見つけることができる。 【読】
	13	読み聞かせの練習をする。 ・相手が1年生であることを意識してゆっくり読む。	相手が聞き取りやすいように、声の大きさやスピードなどに気をつけて読んでいる。 【読】
	14	1年生に読み聞かせる。 ・読み聞かせをした後に、絵本作りの感想を書く。	1年生が聞き取りやすいように、読む位置、声の大きさ、スピードなどに気をつけて読んでいる。 【読】

5 本時の指導

(1) ねらい

【書くこと】 誰が何をしたか、様子を想像しながら、「なか」の場面のお話を書くことができる。

(2) 本時の展開 (6 / 14時間)

過程	学 習 活 動	・指導上の留意点 評価
つ か む 5	<p>1 学習課題の確認 めあてを把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>「なか」の場めんのお話を、ようすがよく分かるように書こう。</p> </div> <p>2 視点の確認 生き生きとしたお話を書くための視点を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「だれが」「なにを」をしっかりと書く。 ・まわりの様子などを書く。 ・会話文を入れて書く。 	<p>・学習課題を把握させる。</p> <p>・視点を確認し、生き生きとしたお話を書くためのポイントを意識させる。</p>
ふ か め る 30	<p>3 記述 「なか」の場面を、視点に気をつけながら書く。</p>	<p>表現の工夫を取り入れながら、「なか」の場面の様子がよく分かるように書いている。</p> <p>A 「なか」の部分に登場する動物の行動の様子を想像し、ストーリーが明確になるように表現している。 「だれが」「なにを」を書いている。 周りの様子などをお話にふさわしい表現で書いている。 会話文を書いている。</p> <p>B 「なか」の部分に登場する動物の行動や、会話文などを入れて表現している。 「だれが」「なにを」を書いている。 周りの様子などを書いている。 会話文を書いている。</p> <p>支 お話が続くように、具体例を示しながら助言する。</p> <p>記述に躓いている子供には、教材文の作品例や良い表現の例を示して、参考にさせる。 (個人診断票から)</p>
ま と め る 10	<p>4 本時の学習のふり返り 書いたお話の良いところを、みんなで確認しよう。</p> <p style="padding-left: 20px;">相互評価 自己評価</p> <p>5 次時の確認 「おわり」の場面のお話を書くことを確認する。</p>	<p>・友達の良さを見つけ、次時の自分の活動に生かせるようにする。</p> <p>相互評価、自己評価ができる。 (評価シート)</p>